ボリューム容量レポートをカスタマイズする

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/reporting/task_create_report_to_identify_volumes_nearing_full_capacity.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ボリューム容量レポートをカスタマイズする 1
Active IQ Unified Managerで
Snapshotの自動削除が無効になっている、容量が上限に近づいているボリュームを特定する 1
Active IQ Unified Manager でシンプロビジョニングが無効になっているボリュームを特定する 2
Active IQ Unified Manager でクラウド層にデータを移動する必要があるボリュームを特定します 2

ボリューム容量レポートをカスタマイズする

Active IQ Unified ManagerでSnapshotの自動削除が無効になっている、容量が上限に近づいているボリュームを特定する

Snapshotの自動削除機能が無効になっていて容量がフルに近づいているボリュームをリストするレポートを作成できます。このレポートは、Snapshotの自動削除を設定する必要があるボリュームを特定するのに役立ちます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順を実行して、必要な列を正しい順序で表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、「容量」＞「すべてのボリューム」を選択します。
3. レポートに表示したくない列を削除するには、*表示/非表示*を選択してください。
4. 「Snapshotの自動削除」列と「Days To Full」列を「Available Data Capacity」列の近くにドラッグアンドドロップします。
5. フィルターアイコンをクリックし、以下の2つのフィルターを追加してから、**Apply Filter** をクリックします。
   - フルまでの日数が30日未満
   - Snapshotの自動削除が無効
6. 「満杯までの日数」列の一番上をクリックすると、残りの日数が最も少ないボリュームがリストの一番上に表示されます。
7. ビューの内容を反映した具体的な名前を付けてビューを保存します。例：「Vols near capacity」
8. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
9. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✔）をクリックします。

   テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、ボリュームでSnapshotの自動削除を有効にしたり、使用可能なスペースを増やす方法を特定したりすることができます。

Active IQ Unified Manager でシンプロビジョニングが無効になっているボリュームを特定する

シンプロビジョニングされていないボリュームは、ボリューム作成時に定義されたスペースの全容量をディスク上で占有します。シンプロビジョニングが無効になっているボリュームを特定することで、特定のボリュームでシンプロビジョニングを有効にする必要があるかどうかを判断できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順を実行して、必要な列を正しい順序で表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、「容量」＞「すべてのボリューム」を選択します。
3. レポートに表示したくない列を削除するには、*表示/非表示*を選択してください。
4. 「`Used Data %`」列と「`Thin Provisioned`」列を「`Available Data Capacity`」列の近くにドラッグアンドドロップします。
5. フィルターアイコンをクリックし、次のフィルターを追加して、シンプロビジョニング済み を いいえ に設定し、フィルターを適用 をクリックします。
6. 「`Used Data %`」列の上部をクリックすると、使用データ率が最も高いボリュームがリストの上位に表示されるように結果を並べ替えることができます。
7. ビューの内容を反映した名前を付けてビューを保存します。例：「`Vols no thin provisioning`」。
8. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
9. 「スケジュールの追加」をクリックして、「レポートスケジュール」ページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義します。
10. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドを完了したら、行の末尾にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

    テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、特定のボリュームでシンプロビジョニングを有効にすることができます。

Active IQ Unified Manager でクラウド層にデータを移動する必要があるボリュームを特定します

現在FabricPoolアグリゲートにあってクラウド階層に関する推奨事項があり、さらに大量のコールド データがあるボリュームのリストを記載したレポートを作成できます。このレポートは、特定のボリュームの階層化ポリシーを「`auto`」または「`all`」に変更して、より多くのコールド（非アクティブ）データをクラウド階層にオフロードすべきか

どうかを判断するのに役立ちます。

開始する前に

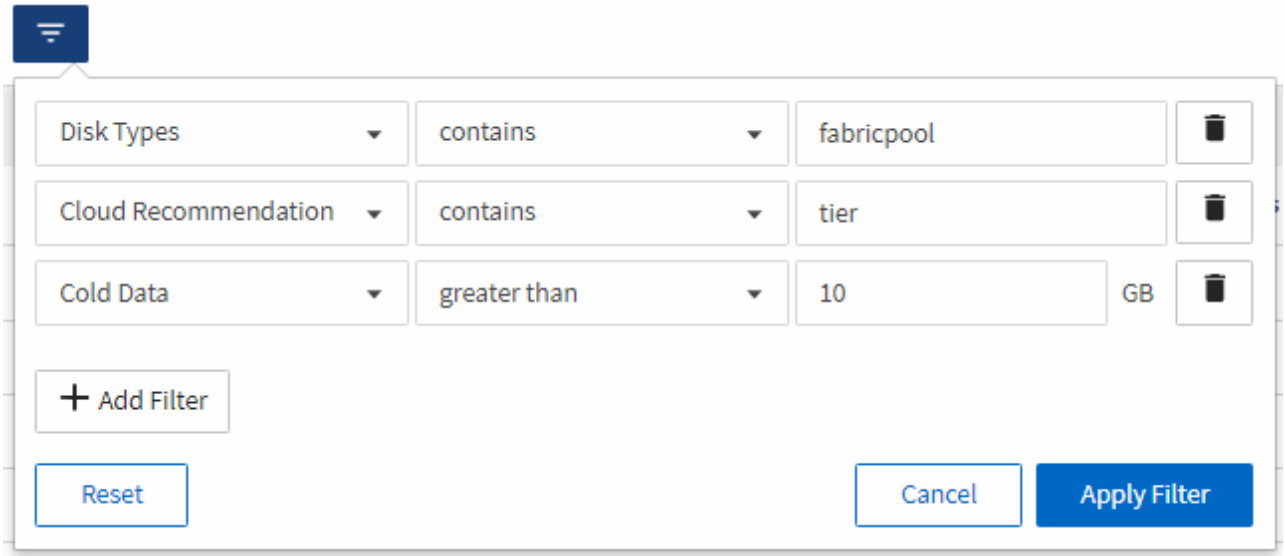
- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- FabricPoolアグリゲートを設定しておく必要があります。また、それらのアグリゲート上にボリュームが必要です。

次の手順を実行して、必要な列を正しい順序で表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

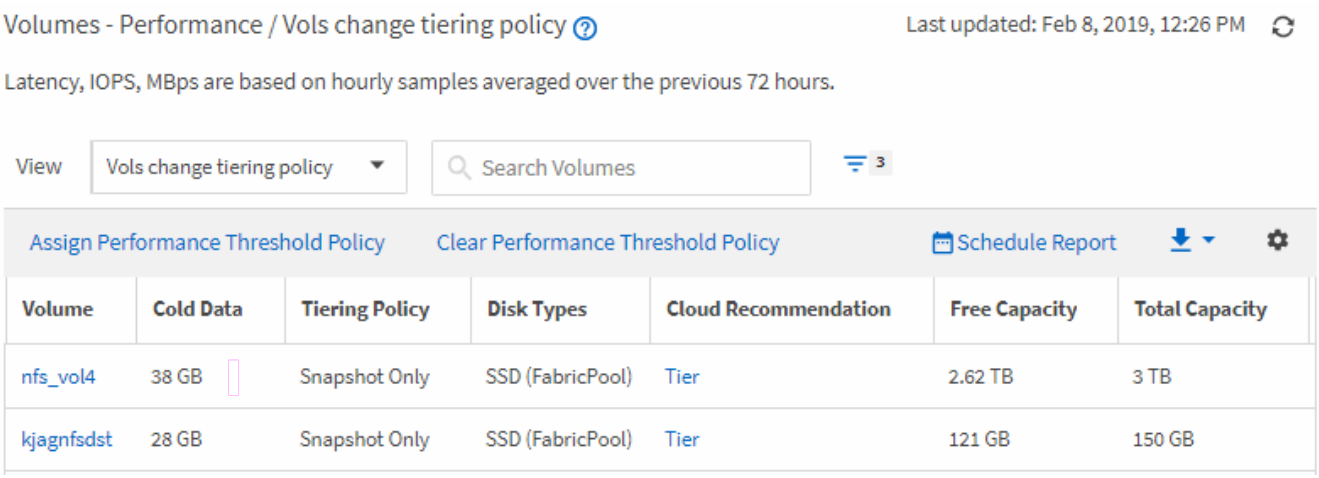
手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、「パフォーマンス」＞「すべてのボリューム」を選択します。
3. 列選択画面で、「`Disk Type`」列が表示されていることを確認してください。

   他の列を追加または削除して、レポートにとって重要なビューを作成します。
4. 「`Disk Type`」列を「`Cloud Recommendation`」列の近くにドラッグアンドドロップします。
5. フィルターアイコンをクリックし、以下の3つのフィルターを追加してから、*フィルターを適用*をクリックします。
   - ディスクの種類にFabricPoolが含まれる
   - クラウドに関する推奨事項に階層が含まれる
   - 10 GBを超えるコールドデータ



6. [コールド データ]列の上部をクリックして、コールド データの量が最も多いボリュームがビューの先頭に表示されるようにします。
7. ビューの内容を反映した名前を付けて保存します。例：「`Vols change tiering policy`」



8. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
9. *スケジュールを追加*をクリックして、レポートスケジュールページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるようにします。
10. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

    テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに示された結果に基づいて、System ManagerまたはONTAP CLIを使用して、特定のボリュームの階層化ポリシーを「`auto`」または「`all`」に変更し、より多くのコールドデータをクラウド階層にオフロードすることをお勧めします。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。